



### 第1回 雲南神楽フェスティバル

2月26日、今年初開催となる雲南神楽フェスティバルが加茂文化ホールで開催され、訪れた大勢の神楽ファンが神楽の共演に酔いしれました。

この日は、市内の社中10団体「佐世神楽社中・出雲國大原神主神楽保存会・山王寺和野神楽社中（大東）、南加茂貴船神楽社中（加茂）、榎屋神楽保存会・西日登神楽社中（木次）、須所若獅子会（三刀屋）、民谷神楽団・深野神楽保存会（吉田）、上多根神楽保存会（掛倉）」が出演しました。小学生がかわいらしく演じ



る演目や有名なヤマタノオロチ退治を演じる迫力ある演目、優美で幽玄な舞いなどに、会場からは大きな拍手が響いていました。その昔、それぞれの地域で親から子へ受け継がれてきた神楽。今後、行政や地域が連携した取り組みにより、後世へ伝えていかなければならないのではないのでしょうか。



### 第9回 全国和牛能力共進会 雲南市出品対策協議会設立

優良牛は、飼育環境や血統等にも影響すると言われ、昨年開催された中央子牛共進会では、雲南市の出品牛がグランドチャンピオンになっていました。全国の共進会での審査結果は、雲南市産和牛のブランド化にも繋がることから、雲南市からの出品牛に期待が高まります。

3月3日、平成19年秋に鳥取県で開催される第9回全国和牛能力共進会へ、優良牛を出品するため、雲南市出品対策協議会が設立されました。この協議会は、行政やJA雲南などの畜産関係機関で組織され、全国共進会に向け、出品牛の飼育管理や育成指導などを行います。



### こころのバリアフリーのまちを願う



### 第1回 雲南市健康と福祉のまちづくりフォーラム

2月10日、三刀屋文化体育館アスバルを会場に、雲南市健康と福祉のまちづくりフォーラム「心の健康づくり住民グループ活動交流会が開かれました。

このフォーラムは、平成7年から旧三刀屋町で開催されていたフォーラムを雲南市全域に広げた取り組みとして、引き続き開催したもので、市内で活動する住民グループや雲南市精神障害者家族会などの活動報告や意見交換の場として、また、各種取り組みへ



意見交換では「障害者にやさしい行政であってほしい」などの声もありました。

の相互理解や参加者との交流の場として開かれました。はじめに、雲南市精神障害者家族会の青山友行会長が「このフォーラムを通じて、生の声を聞き、参加者とともに考えることが重要だ」と話しました。偏見や差別のない、誰もが安心して暮らせる「こころのバリアフリーのまち」にな

ることを願います」と開会のあいさつをされました。引き続き家族会や精神保健福祉施設、住民などの代表が参加し、「聞いてください、私の気持ち。聞かせてください、あなたの気持ち」と題してリレートークがあり、意見交換が行われました。



雲南市健康と福祉のまちづくりフォーラム実行委員会で、「今後も健康づくり、福祉づくり活動を続けてきた会の交流を深め、みんなで手を取り合い、支え合うまちづくりに繋がっていけば」と話していました。

### 尾原ダム周辺の地域活性化を図る



### 尾原ダム地域づくり活性化研究会開催

尾原ダム周辺の地域活性化を図ることを目的に結成されたもので、雲南市・奥出雲町の地元関係団体や学識経験者、国・県・雲南市・奥出雲町の行政関係から約30人が出席しました。

会議では会長に作野広和島根大学教育学部助教授を選出した後、「地域に開かれたダム整備計画」に盛り込まれている

2月28日、尾原ダムP.R館において、第1回尾原ダム地域づくり活性化研究会が開かれました。この研究会は、尾原ダム周辺地域の豊かな自然環境と多彩な地域資源を生かし、地域住民と行政が協働して個性的で魅力ある地域づくりを進め

1,000m級のポット競技施設とサイクリング施設の計画や周辺地域の活性化について意見交換しました。今後もこの研究会で、施設整備やダム周辺地域の活性化などについて幅広く検討を行う予定です。